

大信寺からのお知らせ

平成21年3月9日

大信寺住職 岡田真幸
護持会会長 千金楽勝夫
護持会 役員一同

春3月とはいえ、寒い日々が続きます。暑さ寒さも彼岸まで。もう少しの辛抱です。

また、昨年9月以降、新聞の見出しには、「下落、解雇、割れ」といった見飽きた単語が並んでいます。こちらの春も早く訪れることを願っています。

仏教の言葉に「少欲知足」(欲を少なくして足ることを知る)があり、その意味は、「この世は、欲望を満足出来ないことにより苦悩が生じることが多い」ということです。

分かりやすく分数で表しますと、

$$\text{満足度} = \frac{\text{(得たもの)}}{\text{(欲しいもの)}}$$

となります。分子を大きくして満足度を上げようと苦悩するのが我々の常であり、経済活動の原点です。

それに対して、仏教では、分母の欲しいものを減らして満足度を上げるという逆転の発想を説いています。この停滞の時代だからこそ、落ち着いて考えてみては如何でしょうか。

今回は、檀信徒の活躍のニュースを掲載しました。

合掌

住職 鳳譽真幸

護持会役員会 会議報告

期日 平成21年2月25日(日)午後6時～

議題 平成20年度決算報告について

平成21年度護持会会費収入について

議事

平成20年度護持会決算報告及び平成21年度護持会会費収入が提出され、監査により関係書類を照合の結果、適正を認められたことの報告がありました。別紙をご参照下さい。

(注)支出の欄に宗派課金等とありますが、これは群馬教区費、浄土宗一宗課金・共済会費、群馬県仏教保護会、群馬県仏教連合会、邑楽町仏教会、浄土宗館林組費となります。これらの費用を護持会にて負担していただいております。

なお、大信寺には、先代住職、現住職、その弟、長男、次男と5名の僧侶が登録されていて、浄土宗に先代住職以外の4名が年間各29,000円ほど福祉共済会・宗門子弟養成資金として納めています。

お彼岸とは

お彼岸は1年に2回、春と秋にご先祖さまへの感謝の気持ちを込めてご供養する仏教行事です。春分・秋分の日を中日とし、前後各3日を合わせた7日間のこと、初日を「彼岸の入り」、最終日を「彼岸明け」または「はしりくち」と呼びます。

今年は、3月17日(火) 彼岸の入り

20日(金) 中日

23日(月) 彼岸明け

となります。

篠塚伊賀守奉賛会開催のご案内

関東各地より篠塚伊賀守重廣公の子孫が集い、伊賀守供養を下記のとおり開催いたしますので、壇信徒の方々も是非、ご列席下されれば幸いです。

開催日 4月5日(日)

11時 篠塚伊賀守公 奉賛供養法要 勤修

12時 懇親会 篠塚陣屋にて

法要はご自由にご出席ください。

懇親会にご出席の場合は会費2,000円にて

3月28日までに大信寺までお申込み下さい。

<< 最近の話題から >>

やきそば おぬき 開店

12月に「やきそば おぬき」が開店。

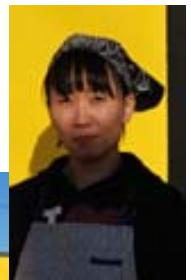
店主は小貫由香里さん(小貫仙太郎氏次男夫人)。電話予約で美味しいやきそばをどうぞ。大信寺西の県道沿い(篠塚駅と354号篠塚交差点との間)

メニュー

やきそば 300円、500円

トッピング 肉 100円

電話 0276-88-9995 11時～



創作イタリア料理 ライズ 開店

手作りこだわりのパスタを主体としたイタリア創作料理屋「ライズ」が開店。マスターは新井恵介さん（故 新井重一氏の孫、故 新井敏雄氏の次男）。凝った内装の落ち着いた店で、手頃な値段でパスタ、グラタンなどが美味しい。

メニュー

日替りランチ(サラダ、ドリンク付) 950円
手作りハンバーグ(100%国産ひき肉) 980円
手作りピッツァ 850円 など



マスター 新井恵介さん 一人で厨房を切り盛り



RISEの看板が目印 北海道産ホタテ貝とかき菜のグラタン

スローダイニング ライズ

電話 0276-61-1279

大泉町坂田 2-4-15 (三洋北中央門前)

ランチ 11:30~15:00 デイナー17:00~22:00

水曜休み 土・日・祝日 ランチ営業中

いちりん著「楽だ色」発刊

いちりんさん(邑楽町中野在住の檀徒、ペンネーム)が「楽だ色」を刊行。幼少の頃の思い出や3年前に逝去されたお父様との風景を綴ったエッセイ集。日常のなにげない風景がほのぼのと描かれ、思わず読み入ってしまいます。

あとがきを紹介しますと、父の喜ぶ声が聞きたくて、「本を書こう!」と思った。そして、父の涙が笑顔に変わるように、

「楽しい本を書くね」

と私は言った。

できたら本を通して、ゆっくり楽しみながら父と語り合いたい。



「父に見せたい」とあせる気持ちを文芸社のスタッフに聞いていただき、さっそく本の執筆がはじまった。(中略)

その一か月後、父は穏やかな表情でこの世を去った。私はこの本を書き上げることで、天国の父と語り合うことができた。

「お父ちゃん、ありがとう」と、心から感謝の気持ちをこめて捧げたい。

楽だ色 著者 いちりん 発行所 文芸社

本体価格 1,100円 ISBN978-4-286-04564-1

他に、今は亡きお母様を綴った「女優を夢見たお母ちゃん」(文芸社、2006年)があります。

<< 住職雑感 >>

「大信寺はいつもきれいになっていますね」とよく耳にします。嬉しい限りでもあり、掃除の遣り甲斐と責任を感じますが、家族だけではとても維持できません。そこで、次の方々にもお手伝いいただいています。

- 7、12月には邑楽南中学校の生徒さんがボランティア活動として約20名で40分ほど境内掃除に来ていただきます。
- 夏休みには、26区育成会の親子で2時間ほど除草をお願いしています。
- 年1回、お盆前には、庭木の手入れを造園業者をお願いしています。
- 2年半ほど前から、月に数回、除草や掃除を有料でお願いしている方がいます。

群馬県藤岡市にも篠塚という地名があります。ここに「瑞兆」という敷地800坪ほどの蕎麦屋があり、庭木を眺めながら美味しい蕎麦が味わえます。その女将と庭の手入れの苦労話に花が咲きました。女将言うには、「いつかはアパートに住んでみたい」とのこと。庭掃除、草取りから解放されるからだそうです。思わず同感。しかし、1か月で飽きてしまうことも一致。「家庭」とは、「家」と「庭」と書きます。庭があるから安らぎが得られるのでしょう。

2月中旬、2回目のインド・ネパール仏教遺跡巡礼の一人旅へ。お釈迦さまの生誕の地ルンビニ、初めての説法の地サールナート、涅槃の地クシナガラと、そして最後に訪れた祇園精舎では、ここで説かれた阿弥陀経を誦し、一人で総檀中各家先祖代々追善菩提法要を行いました。

既にインドでは仏教は12世紀に廃れてしまいましたが、タイなどの仏教国から大勢の巡礼団が訪れ、信仰の深さを感じた次第です。

更には、歴史上の実在した人物としてのお釈迦さまをあらためて見つめ直すことが出来ました。